



# かたかし②

(ヒメジ科)

～生活史の研究～

## ① “かたかし” ってどんな魚！？

“かたかし”とは、ヒメジ科の魚の総称で、沖縄には3属約20種が生息しています。また、ヒゲを持つ独特の風貌から、“おじさん”と呼ばれることもあります（～かたかし①～参照）。

カラフルな見た目をしているので、食べられるの！？と思うかもしれませんが、独特の風味があり、刺身、唐揚げ、天ぷら、煮付け等でおいしくいただけます。沖縄の魚市場では、ポピュラーな魚のひとつで、潜水漁、刺網漁、定置網漁などで漁獲されており、2013年は、沖縄県全体で年間12トンほどの水揚げがありました（沖縄県水産海洋技術センター）。しかしながら近年、資源状態の急激な悪化が懸念されている魚種のひとつとされています。



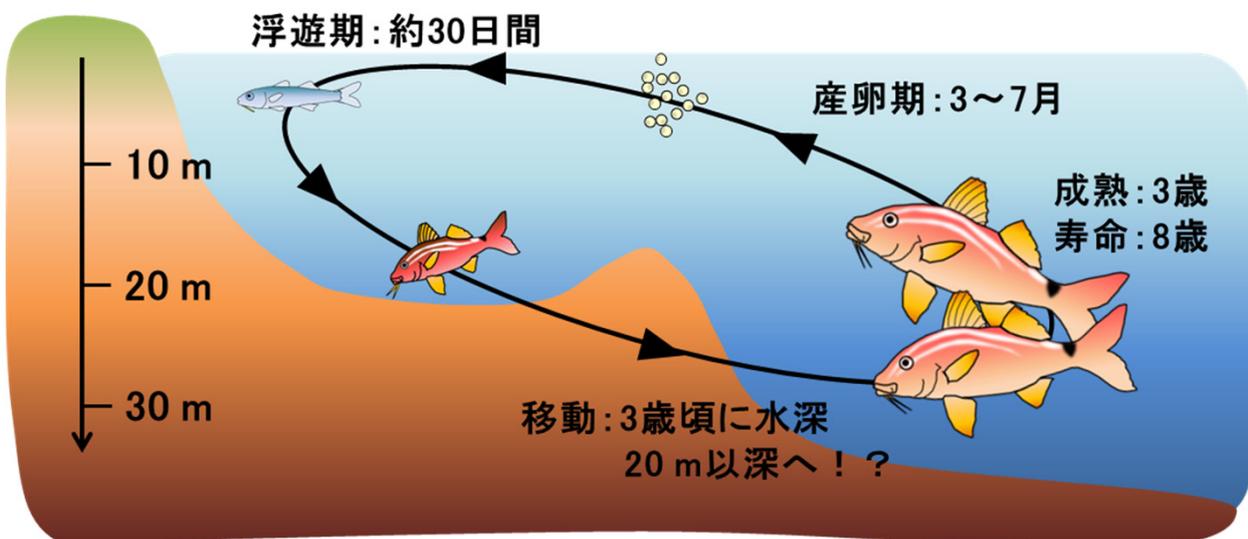
市場に水揚げされたホウライヒメジ



ホウライヒメジの天ぷら

## ② “かたかし” の一生

“かたかし”は、海の中で一体どのような生活を送っているのでしょうか？ここでは、ホウライヒメジを例にあげ、その生活史を紹介します。



漁業の現状：ホウライヒメジの場合、成熟するのは、3歳からですが、漁獲されているもののほとんどが2歳以下の未成熟な個体です。

### ③人生（魚生）いろいろ

魚の中には、数ヶ月で寿命をむかえる種から50年以上生きる種もいます。また、一生に一度しか産卵しない種もいれば、1年の間に何度も産卵する種もいます。さて、ここではいろんな“かたかし”の人生（魚生）をみてみましょう。

| 和名と分類群  | 寿命<br>(歳) | 最大全長<br>(cm) | 雌雄の<br>成長 | 産卵生態   | 成熟年齢<br>(メス) |
|---|-----------|--------------|-----------|--------|--------------|
| ホウライヒメジ<br>(ウミヒゴイ属)        | 8         | 43           | ♀=♂       | ペア産卵!? | 3            |
| コバンヒメジ<br>(ウミヒゴイ属)         | 6         | 41           | ♀<♂       | ペア産卵!? | 1            |
| オジサン<br>(ウミヒゴイ属)           | 7         | 29           | ♀<♂       | ペア産卵   | 1            |
| オオスジヒメジ①<br>(ウミヒゴイ属)       | 6         | 49           | ♀<♂       | ペア産卵!? | ?            |
| オオスジヒメジ②<br>(ウミヒゴイ属)       | 7         | 38           | ♀<♂       | ペア産卵!? | ?            |
| モンツキアカヒメジ<br>(アカヒメジ属)    | 6         | 39           | ♀>♂       | 集団産卵   | 1            |
| アカヒメジ<br>(アカヒメジ属)        | 8         | 38           | ♀>♂       | 集団産卵   | 2            |
| リュウキュウアカヒメジ<br>(アカヒメジ属)  | 9         | 57           | ♀>♂       | ?      | ?            |
| ヨメヒメジ<br>(ヒメジ属)          | 8         | 31           | ♀>♂       | 集団産卵!? | 1            |

どうやら“かたかし”は、7歳前後の寿命をもつものが多いようです。ところが、最大全長には大きなばらつきがあり、種毎の成長スピードに大きな差があることがわかってきました。また、ウミヒゴイ属は、オスの方がメスより大型になり、ペア産卵を行う種が多いと予想されました。一方、アカヒメジ属とヒメジ属では、メスがオスより大型で、集団産卵を行うと考えられました。このように、今回の調査から、繁殖生態は属ごとに共通している傾向があることがわかってきました。

### ④ “かたかし” 研究のこれから

同じ“かたかし”であっても、種ごとに似ている特徴と全く異なる特徴を持っています。魚それぞれの特徴をとらえ、比較していくことで、今まで見えなかったことに気がつき、より理解を深めることができると強く感じます。そこで、今後もより深い知識を得るために、調査・研究をしていこうと考えています。そして、集めた情報が、沖縄の資源を守る役に立つことを期待しています。

### ⑤ 参考資料・文献

平成24年度沖縄沿岸域の総合的な利活用推進事業に関する委託「水産重要魚類の生活史と遺伝的集団構造の解明」研究成果報告書。

執筆担当者：鮫島翔太（沖縄県栽培漁業センター）